

埼玉県地震概況（2022年5月）

熊谷地方気象台 2022年6月8日

（ここに掲載する震源要素は暫定値であり、後日修正されることがあります。）

※巻末に【防災一ロメモ】「地震解説資料に掲載している図の見方について」を掲載しましたのでご参照ください。

◇5月の地震概況

埼玉県内で震度1以上を観測した地震は7回でした。

5日18時42分に発生した茨城県南部の地震により、埼玉県内で震度3～1を観測しました。

1. 埼玉県内で震度1以上を観測した地震（2022年5月1日～2022年5月31日）

No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	国内 最大震度	県内 最大震度
1	2022/05/03 19:39	東京都多摩東部	35° 39.7' N	139° 28.9' E	130 km	M4.6	3	2
2	2022/05/05 18:42	茨城県南部	36° 08.4' N	139° 50.6' E	52 km	M4.8	4	3
3	2022/05/08 09:29	茨城県北部	36° 31.8' N	140° 34.3' E	58 km	M3.5	3	1
4	2022/05/09 17:33	遠州灘	34° 33.8' N	136° 58.6' E	341 km	M5.2	2	2
5	2022/05/22 12:24	茨城県沖	36° 46.4' N	141° 24.2' E	5 km	M6.0	5弱	2
6	2022/05/24 12:43	千葉県北西部	35° 50.9' N	139° 59.5' E	47 km	M3.5	1	1
7	2022/05/29 15:55	茨城県沖	36° 14.8' N	140° 58.5' E	44 km	M5.3	4	2

※震度分布図や観測点の表などの詳細は「震度データベース検索」をご参照ください。

(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>)

2. 埼玉県内で震度3以上を観測した地震（2022年5月1日～2022年5月31日）

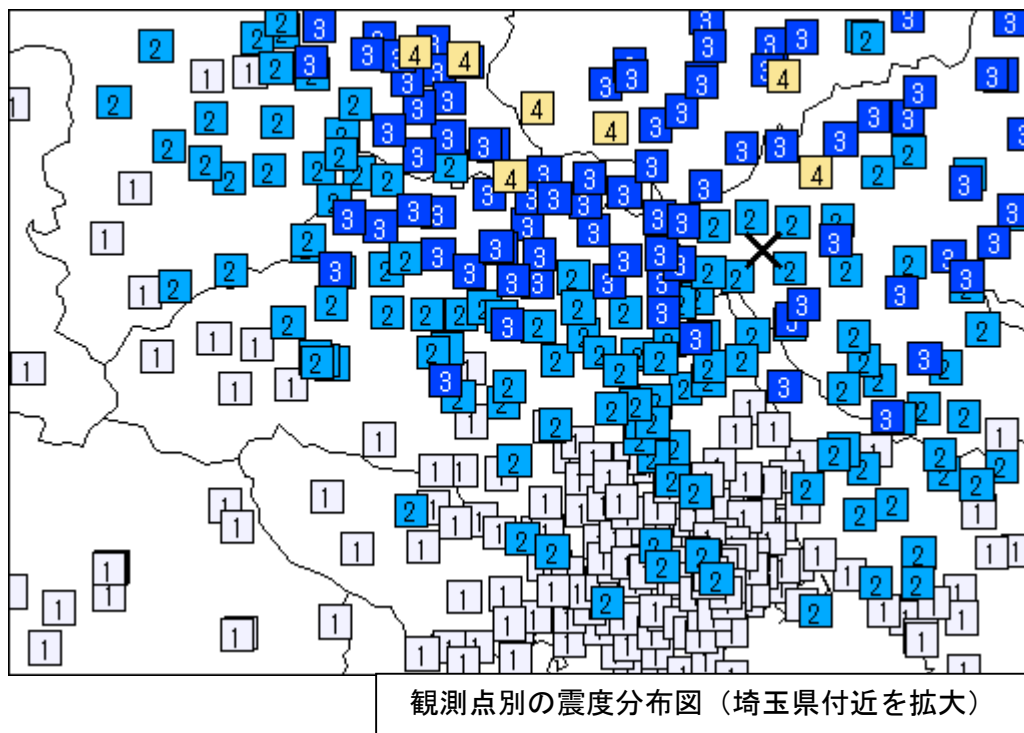
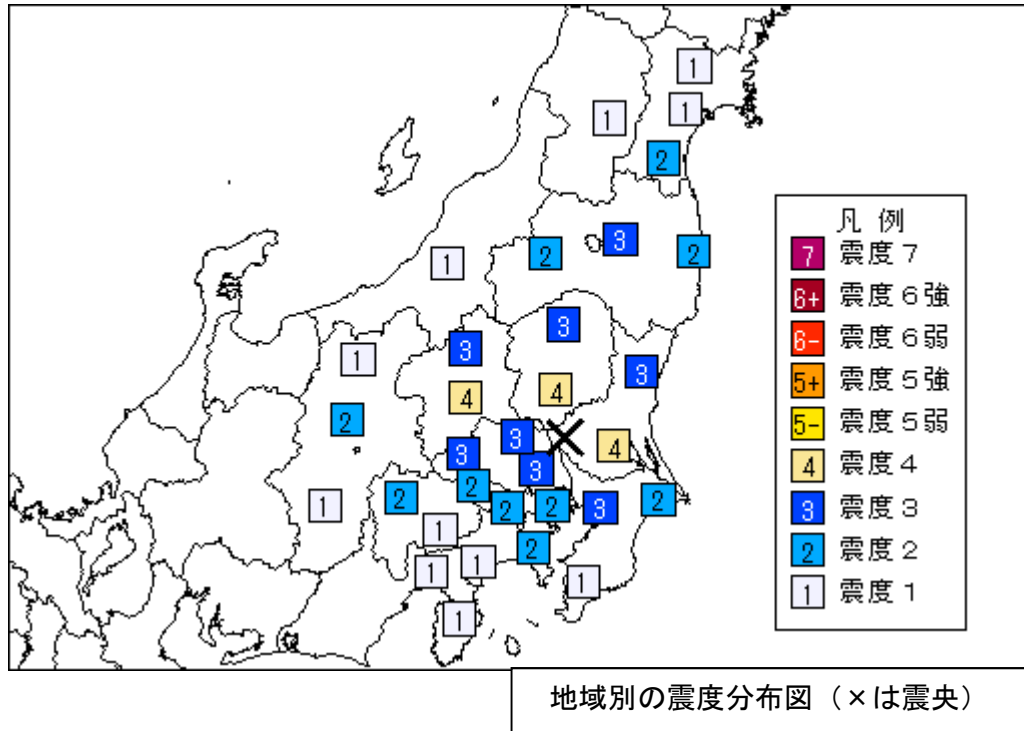
5月5日 18時42分 茨城県南部の地震（深さ：52km、マグニチュード：4.8）

茨城県、栃木県及び群馬県で震度4を観測したほか、東北地方から関東甲信越地方にかけて、及び静岡県で震度3～1を観測しました。

埼玉県内では震度3～1を観測しました。

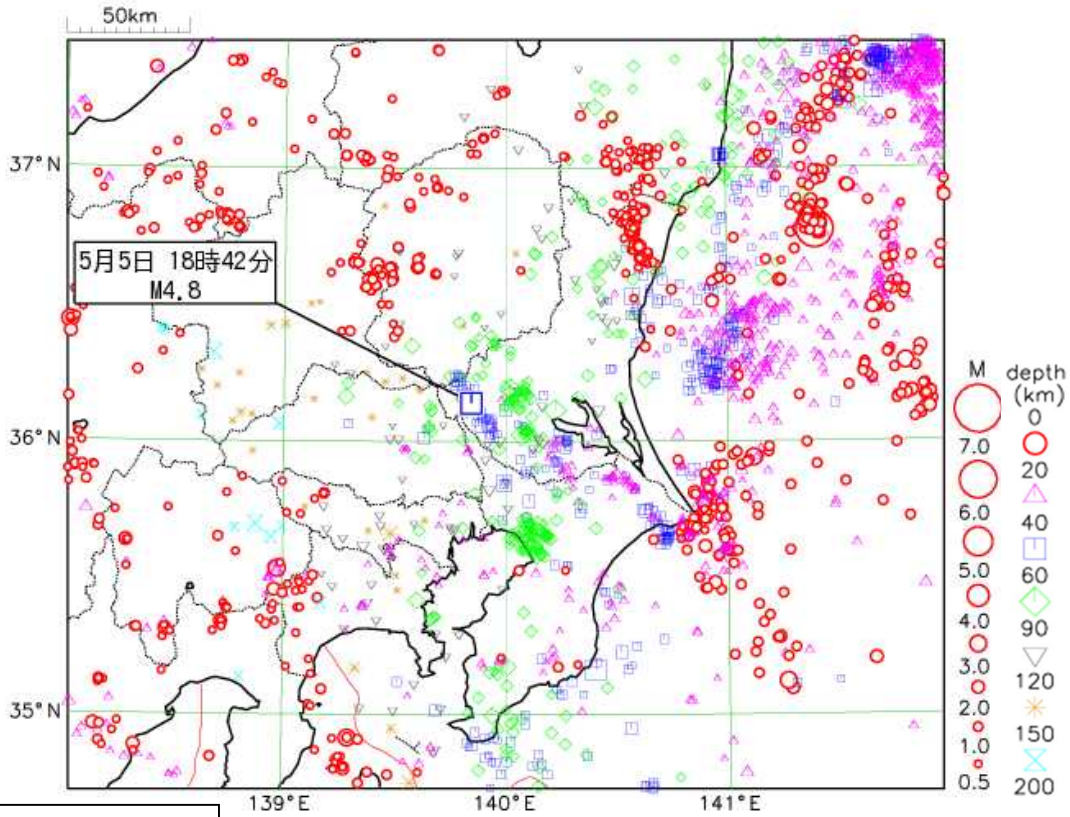
この地震は、発震機構*が北北西—南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生しました。（「3. 震央分布図及び断面図」参照）。

*発震機構：地震を起こした断層が地下でどのようにになっているかとその断層がどのように動いたかを示すもの
（「発震機構解とは何か」<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/mech/kaisetu/mechkaisetu.html>）

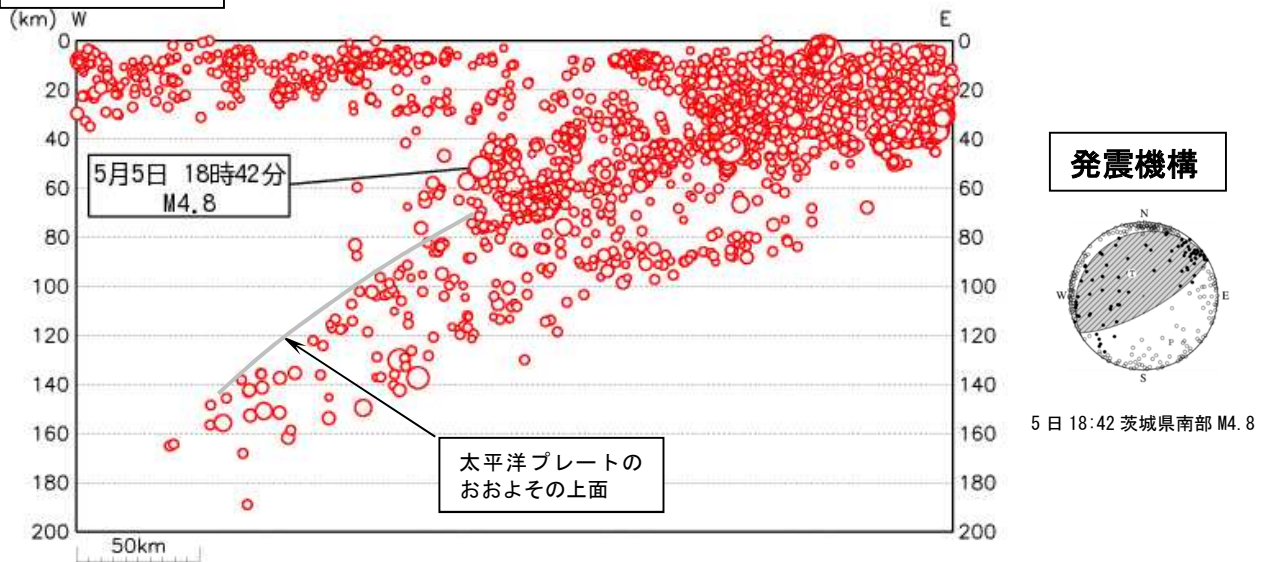


3. 震央分布図及び断面図 (2022年5月1日~2022年5月31日)

◇ 震央分布図



◇ 断面図



・ Mはマグニチュードで0.5以上、深さは200kmまでの地震を示しています。

・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

・ 本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000 (行政界・海岸線)』を使用しています。

【防災一口メモ】

地震解説資料に掲載している図の見方について

熊谷地方気象台では、地方公共団体等による地震防災対策を支援するため、毎月、埼玉県内の地震活動の状況をお知らせする「埼玉県地震概況」を作成・公表しています。また、埼玉県内で震度4以上の揺れを観測した場合には、地方公共団体等の防災対応を支援するための資料として「地震解説資料」を公表しています。これらの資料に使用される主な図の見方について、埼玉県内で震度5強を観測した千葉県北西部の地震を例として（[埼玉県地震概況（2021年10月）](#)に掲載）、解説します。

①震度分布図（図1）

震度分布図は、各地の震度計で観測した震度を地図上に表示し、地震による揺れの強さや範囲を表しています。地震による揺れが広範囲にわたり多数の観測点の震度がある場合には、図が煩雑にならないよう、各地域*内で観測した震度の中で最も大きな震度を代表させて表示することがあります（図1の上段が地域別、下段が観測点別）。また、地図上の×印は、地下の震源を地表に投影させた点（震央）です。

*全国を188地域に区分して、その地域名を使用して緊急地震速報や震度情報で発表しています。埼玉県では「埼玉県北部」、「埼玉県南部」、「埼玉県秩父」の3つの地域に区分されています。

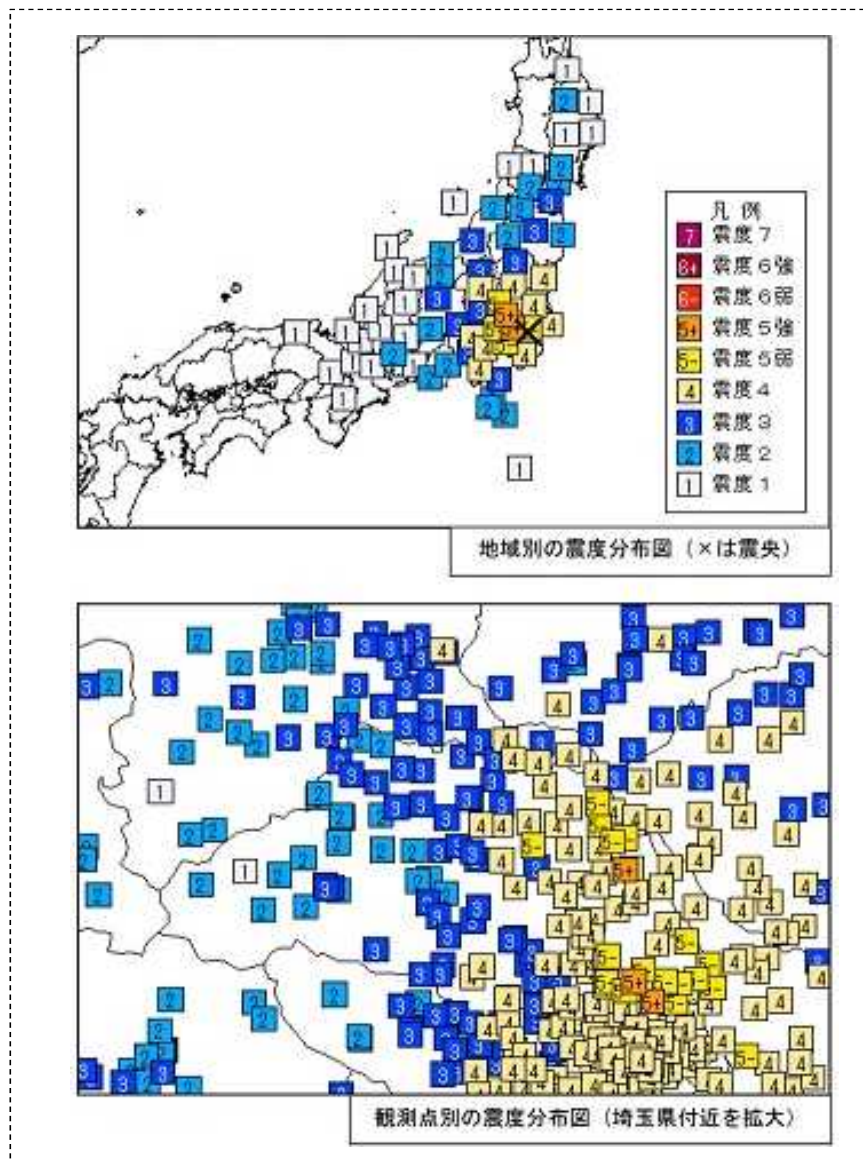


図1. 震度分布図

②震央分布図と断面図（図2）

震央分布図は、地震が発生した場所を地図上に表示し、地震活動の面的な広がりを見せています。表示するシンボルの大きさや色を変えて、地震の規模（マグニチュード）や発生期間を表現します。また、断面図は、震央分布図の矩形領域の地下を直交方向から見た図です。今回の例では南北方向から見た東西断面図です。これらの図を見ると、地震の活動の立体的な広がりを把握することができます。

③M-T 図及び回数積算図（図3）

M-T 図は、ある領域内において時間の経過（T）と共にどの程度の規模（M）の地震が発生したかを表しています。マッチ棒のような形状1本が個々の地震です。また、回数積算図は時間経過毎の地震発生数の積算（合計）数を折れ線グラフで表現しています。これらの図から、ある期間内での地震活動の状況を把握することができます。

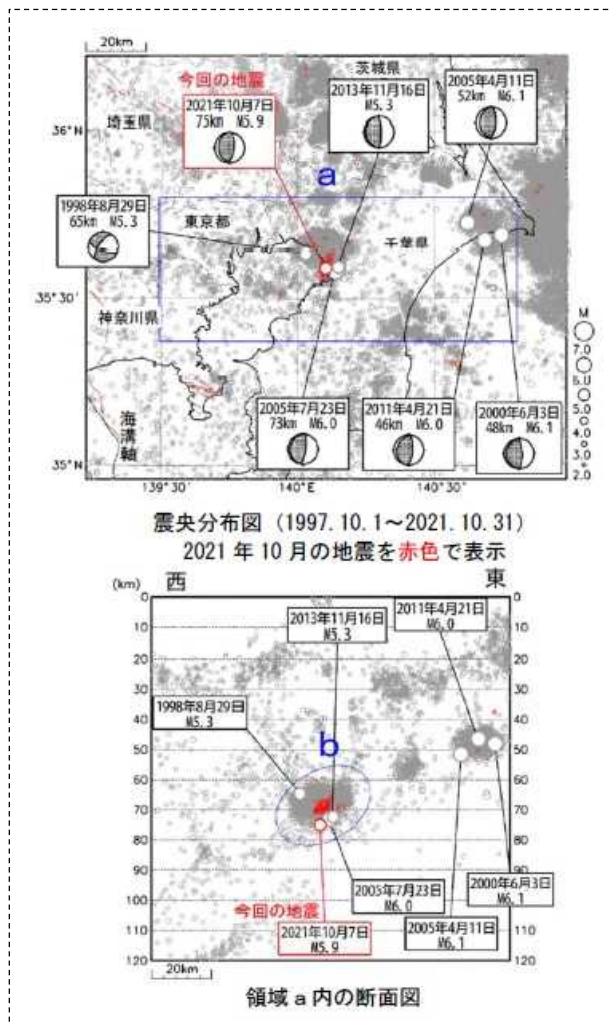


図 2. 震央分布図と断面図

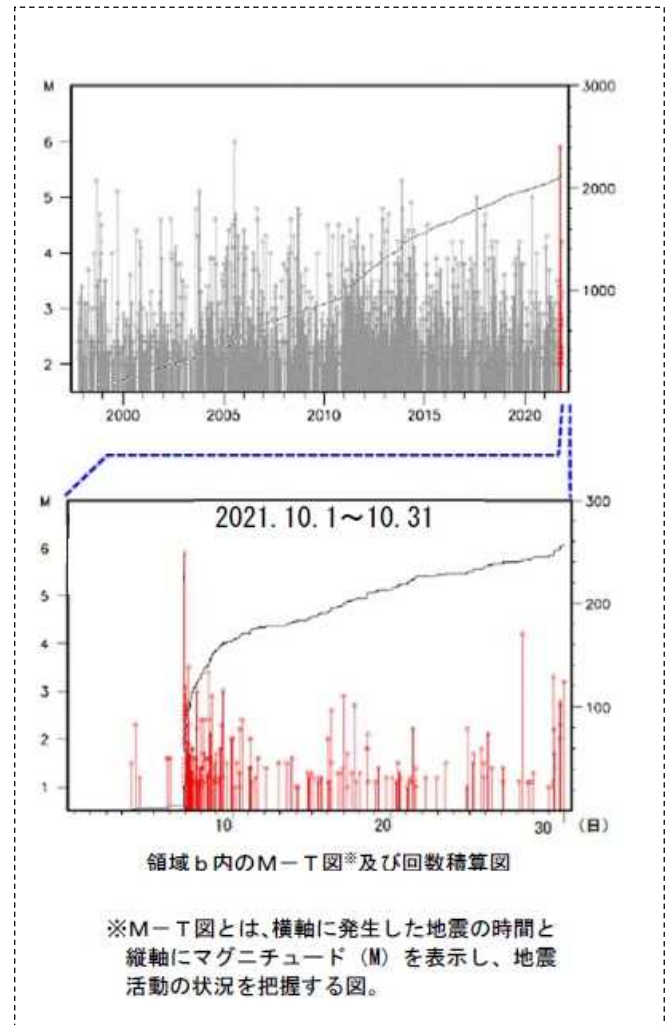


図 3. M-T 図及び回数積算図